

路線の概要

一般国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、都心から半径40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの自動車専用道路であり、都心から伸びる放射道路を環状に連絡することによって、都心部への交通を分散し、渋滞の緩和が図られます。

また、海老名ICから八王子JCTまでの開通により、圏央道によって東名高速と中央道が連絡されることになり、先に開通した中央道と関越道との区間と相まって、より広域的な利便性の向上が期待されます。

なお、各区間における事業の進捗状況は、以下の通りです。

①海老名IC～相模原IC（仮称）間（L=10.1km）

用地取得率は約99%となっており、順次工事を進めているところですが、残る用地取得や工事工程を考慮し、開通目標を平成24年度に変更いたします。

②相模原IC（仮称）～八王子南IC（仮称）間（L=14.7km）

用地取得率は約84%となっており、厳しい工程ではありますが、用地取得が完了した箇所から重点的に工事を推進しています。

③八王子南IC（仮称）～八王子JCT間（L=2.2km）

平成23年度の開通を目指し、高尾山トンネル等の工事を推進しています。

位置図

